

勝手に西東京市民 100 人アンケート結果報告

田無スマイル大学実行委員会代表 富沢木実
2014.10.25



- 田無スマイル大学は、政治的にはニュートラルで、いろいろな考え方が参加しています。
- 行政区に限らず、散歩や買い物など日常的な近隣エリアを念頭に置いて活動しています。但し、今回は、調査内容等から、西東京市民に限った調査報告とさせて頂きました。

・実施目的

今回のアンケート実施の目的は、大きく2つありました。

1. 今後の田無スマイル大学の活動の参考にしたい。
2. 会社勤務をしているメンバーから、会社の同僚と話している時と、地域活動の仲間と話している時とでは、反応にギャップがある、地域活動をしている人達だけの考えで活動を進めると世の中とズレるのではないかという懸念が表明され、それを確かめてみたいということでした。

・実施方法

1. 10月上旬に、知り合いの方100人程度にフェイスブックとメールでお願いしました。全部で69の方がご回答くださいました。
2. 10月上旬に、田無駅と保谷駅のペDESTリアンデッキで3回、ボードにシール（年齢別、男女別）を貼ってもらう方式でアンケート調査を実施しました。毎回西東京市民の方10名が回答して下さいました。

・謝辞

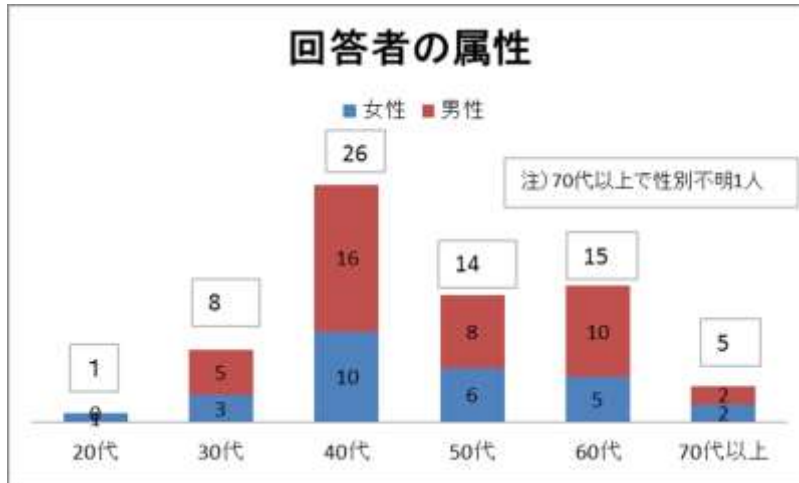
簡単には、「はい」「いいえ」と答えられない質問でしたが、皆さまいろいろな悩みながらも回答して下さいました。お忙しいなか、大変有難うございました。

1. ネットでのアンケート結果

10月に知り合いの方100人くらいにフェイスブックとメールでお願いしました市民アンケートの結果です。全部で69の方がご回答くださいました。ご協力有難うございました。

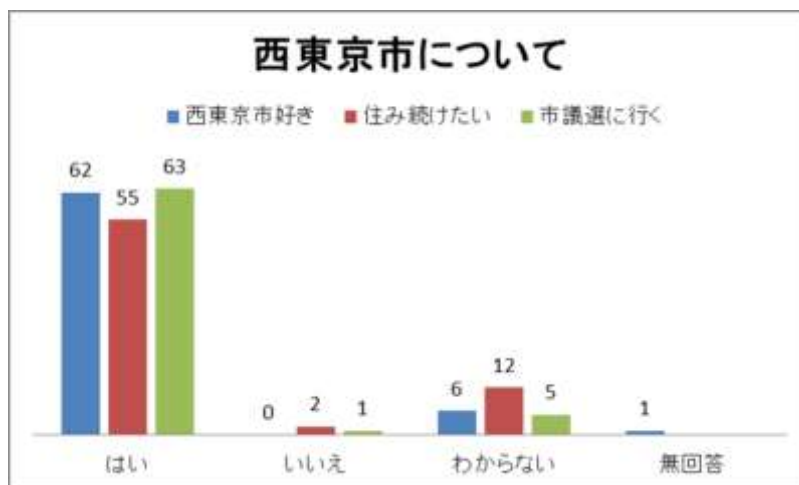
1. 回答者の属性

- まず、男女別では、女性27人、男性41人（性別不明1人）。
- 年齢別では、20代1人、30代8人、40代26人、50代14人、60代15人、70代以上5人でした。



2. 西東京市について

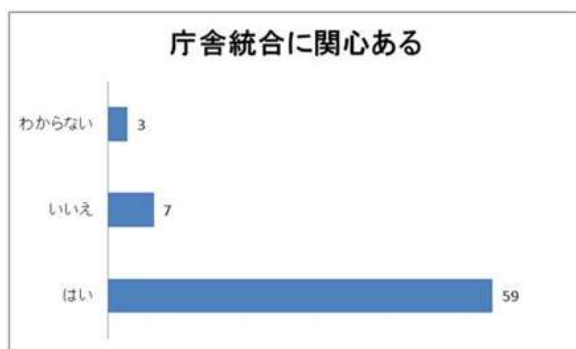
- 西東京市が好きか、住み続けたいか、市議選に行くかでは、ほとんどの方が「はい」でしたが、「わからない」という方も数人おられました。



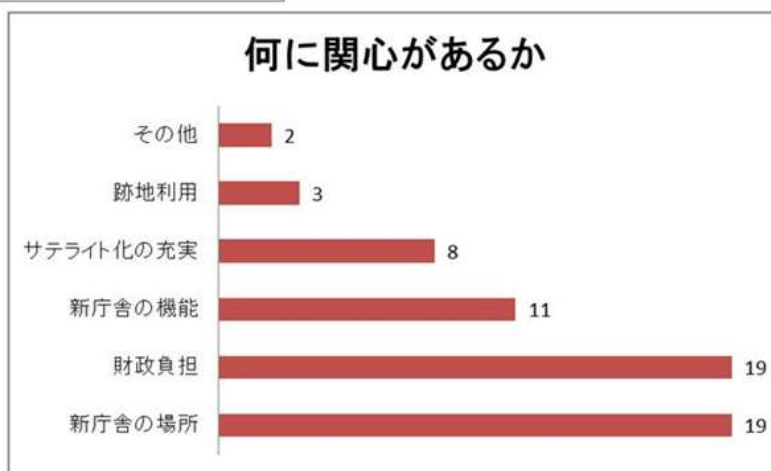
3. 庁舎統合問題への関心

- 庁舎統合問題に関心がある方は、多かったですが、「いいえ」や「わからない」と答えた方もそれなりの数おられました。
- 何に最も関心があるかで、一位は、「新庁舎の場所」と「財政負担」で各19人、「新庁舎機能」

11人、「サテライト機能充実」8人、「跡地利用」3人でした。これは、数の過小というよりも、これ全部への丁寧な回答が求められていると見た方が良いと思いました。

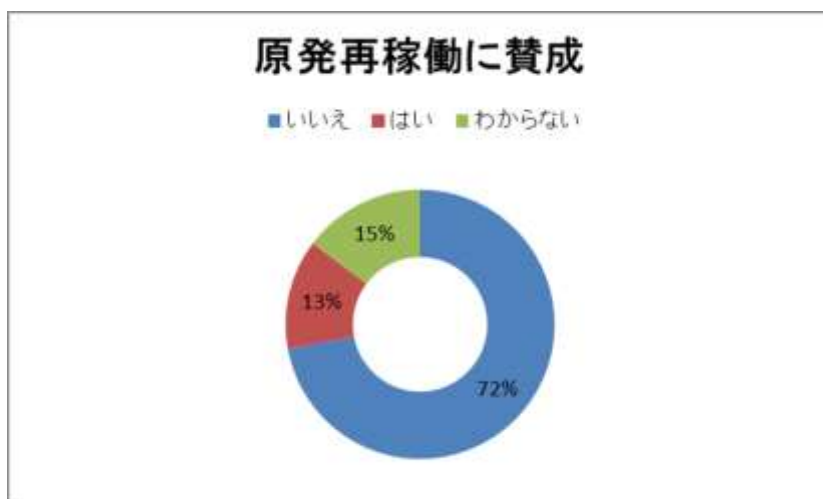


(注)関心ない、わからないと答えた方のうち3人が何に関心があるかを回答。

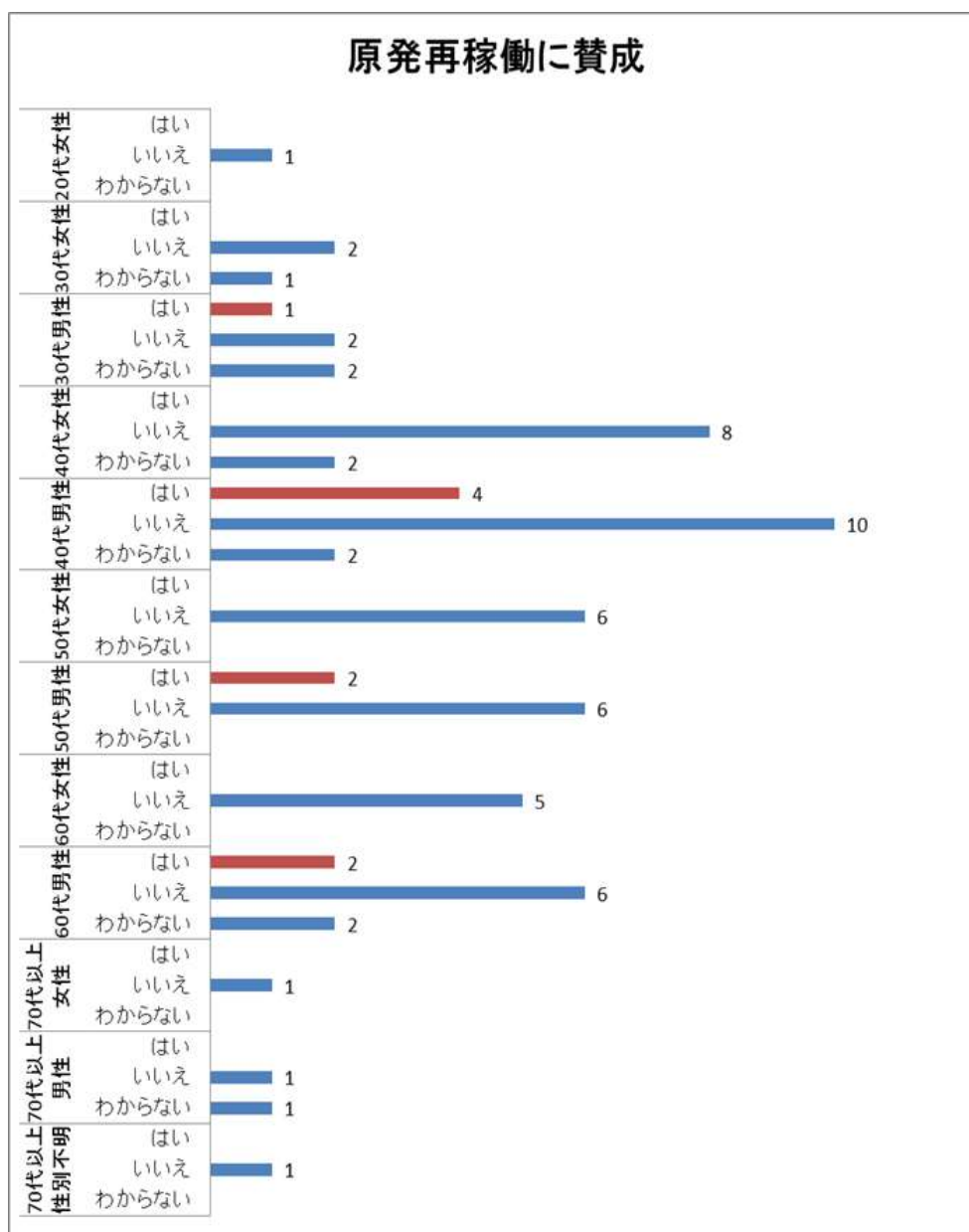


4. 原発再稼働について

- 原発再稼働に「賛成」の方は13%で、多くの方が「反対」でした。



- 年齢別、男女別にみると、「賛成」の方は、全員男性でした。

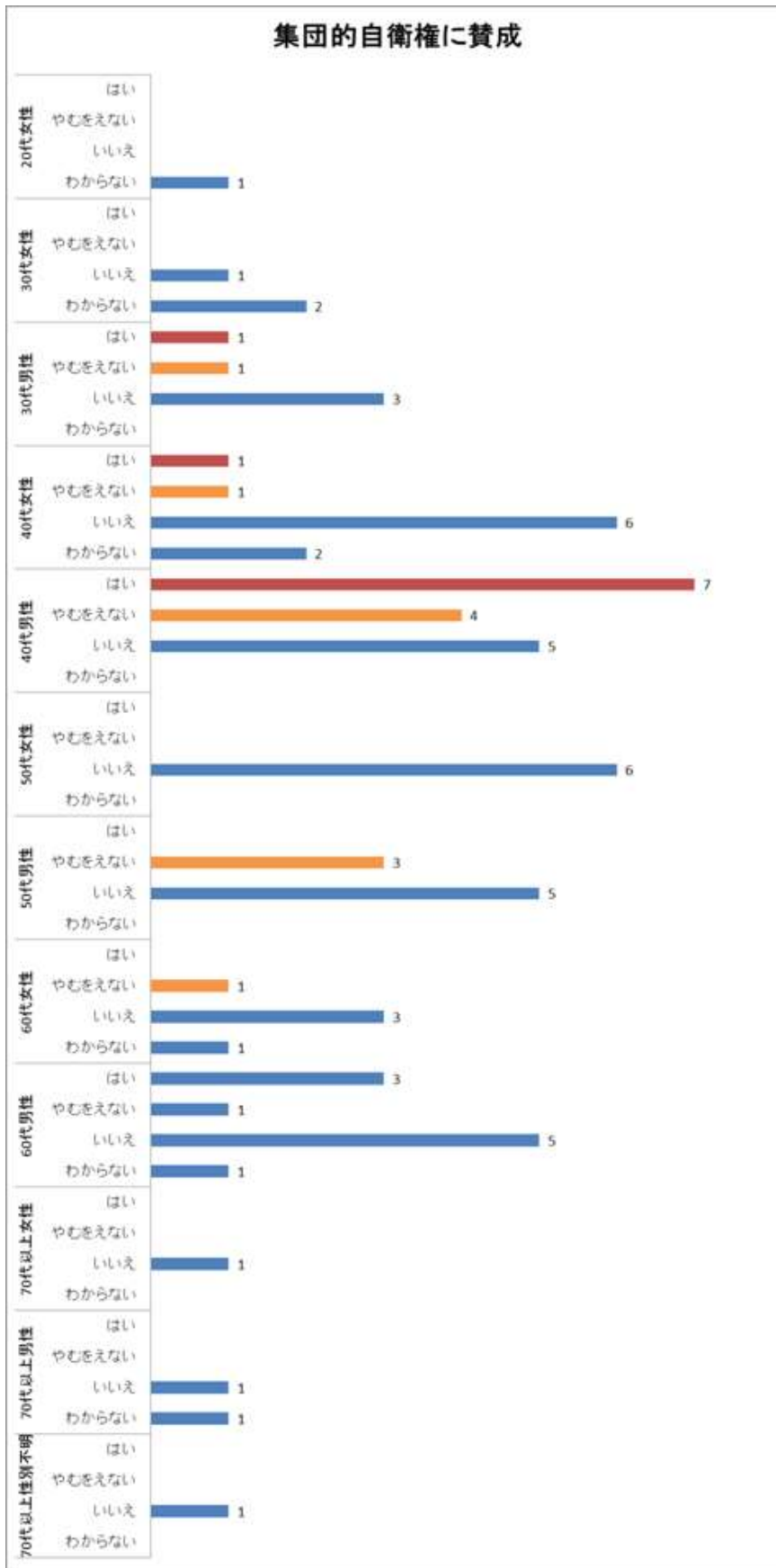


5. 集団的自衛権について

- 集団的自衛権に賛成かどうかについては、「はい」と「やむをえない」を合計すると 34%の方が賛成でした。

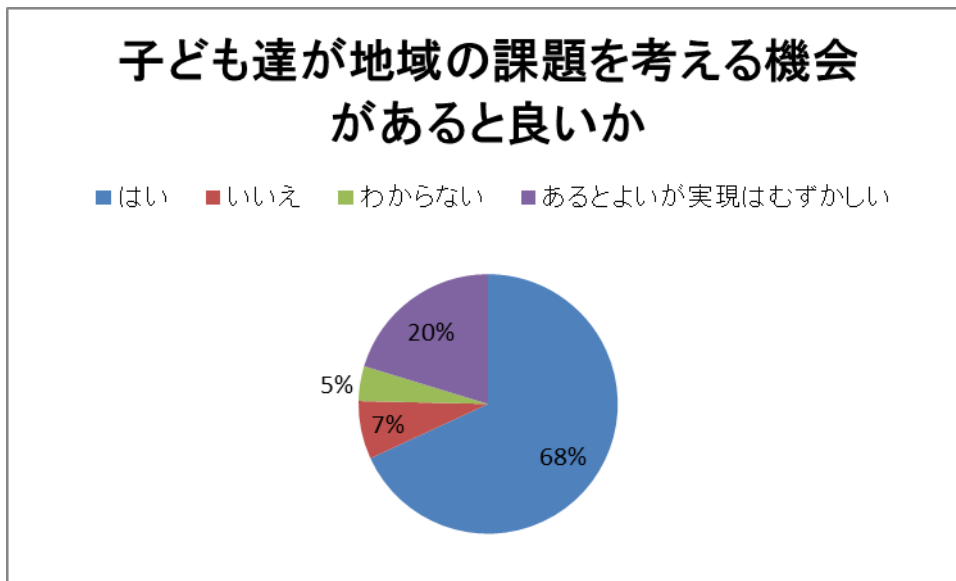


- 年齢別、男女別にみると、これも賛成の方は男性が中心でした。



6. 子ども達に地域の課題を考える機会があると良いか

- この問いについては、多くの方が「はい」と答えて下さいましたが、「あると良いが実現は難しい」と答えて下さった方が2割ほどおられました。



2. 街頭でのアンケート結果

10月上旬に①田無駅ペDESTリアンデッキ（9日木曜日 11:45～13:15）、②保谷駅ペDESTリアンデッキ（17日木曜日 14:00～15:30）、③田無駅ペDESTリアンデッキ（19日日曜日 11:30～13:30）と3回ほど、ボードにシール（年齢別、男女別）を貼ってもらう方式でアンケート調査を実施。

ネットでのアンケート調査対象は、田無スマイル大学のさまざまなイベントで知り合った人が中心になります。田無スマイル大学は政治的には中立のスタンスを取っていますが、ある程度偏りがある可能性があります。

ペDESTリアンデッキで出会った人は、全く知らない方ばかりでした。それでも、平日の昼間は、地域で暮らしている人が中心になります。そこで、一度だけでしたが、日曜日の昼に実施し、できるだけ会社勤めなどで昼間は、西東京市に居ない雰囲気の方（日曜日に買い物や家族サービスをしているといった感じの方）に積極的にお声かけしてみました。

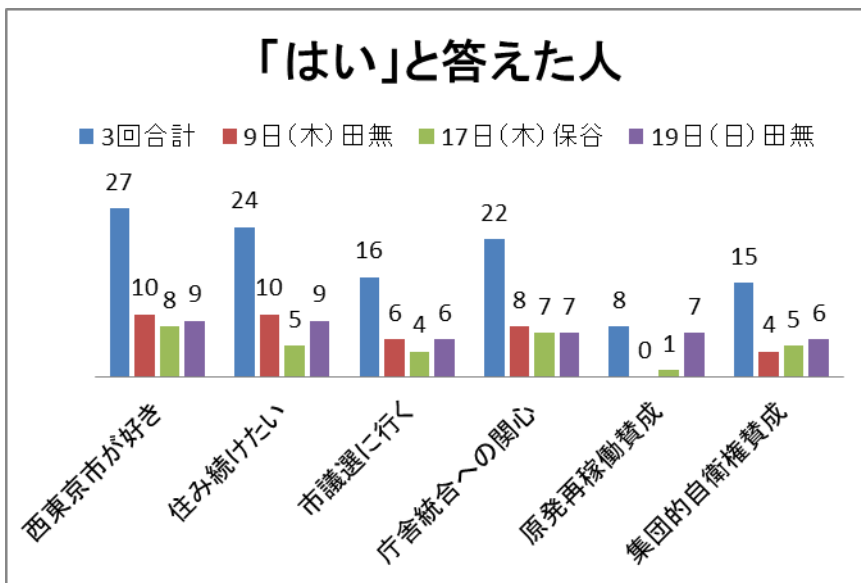
但し、ネットほど調査票を細かくできなかつたので、「庁舎統合問題の何に関心があるか」や「子ども達が地域の課題を考える機会があると良いか」については項目を設けませんでした。

ただ、対話しながらシールを貼ったので、いろいろなご意見を聞きながらアンケートを取ることができました。そうはいつても、ウロ覚えですので、その限りでのご意見です。また、近隣都市や遠方からの方でお答えいただいた方もおられますが、ここでは、西東京市民（毎回10名、合計30名）に限らせて報告させていただきます。

1. 全体の傾向

①「西東京市が好きか」、②「西東京市に住み続けたいか」、③「12月の市議選に行くか」、④「庁舎統合問題に関心があるか」、⑤「原発再稼働には賛成か」、⑥「集団的自衛権には賛成か」という6つの間に、年齢別、男女別にシールを貼っていただきました。③の市議選については、お答え頂いた20代以下の方お二人が選挙権がまだありませんでした。

6つの質問への回答を3回合計（30人）と実施日ごと（各10人）に示したのが下のグラフです。回答数が少ないので、言い切ることはできませんが、多くの方が「西東京市が好き」と答えて下さいました。しかし、このアンケート結果では、保谷でお答えいただいた方は、「住み続けたい」と答えた方が半分なのと、「市議選に行く」と答えられた方が少ない結果となりました。



保谷で「市議選に行かない」と答えた方のご意見としては；

国会議員も地方議員も自分たちの金のことだけ考えている、議員定数を減らすはずだったのに実現していない。

行政の人も含め自分で金を稼いだ経験のない人たちなので机上でしか考えていない、誰も市民のことなど考えていない

「先生」なんて呼ぶべきじゃない。

・・・など政治・行政に不信感を抱いており、何をしても変えられないからというニュアンスのことを言われていました。

		はい	いいえ	わからない
20代以下	男	○		
20代以下	女	○		
30・40代	男	○		
30・40代	男		○	
30・40代	女		○	
30・40代	女			○
30・40代	女			○
50・60代	女	○		
70代以上	男		○	
70代以上	女		○	

2. 庁舎統合への関心

庁舎統合問題について知らない方もおられました、関心を持っている方が相当おられました。

- ・ 昼間市外で働き、家では寝るだけといった生活をされておられる方は、余り関心がないようでした。
- ・ 新庁舎の場所（自宅から遠くなると不便）を気にされている方も当然おられました。
- ・ 「統合した方が効率が高まるので賛成」と答えられた方も多かったですが、一方で、「財政負担になるのだから、使える最後まで今のまま使えばよい」、「なんで合併して予算が豊富な時にやらなかったんだろう、合併してすぐやっしまえばあきらめもついたのに」、「税金だけは取られるけどそれだけのことをやってくれていないという現在の行政への不満から、自分たちのオフィスを良くしたいというだけなんじゃないか、統合することで本当に市民にとってメリットがあるのか」、「跡地を売ってまたマンションが建つだけじゃないのか、公園にでもしてくれるならよいけど」等々さまざまなご意見がありました。

3. 原発再稼働について

原発再稼働については、第一回目、第二回目の平日の昼間に実施したおりには、「反対」もしくは「わ

			原発再稼働賛成		
			はい	いいえ	わからない
田無(第3回目)	20代以下	男	○		
	20代以下	男	○		
	20代以下	女		○	
	30・40代	男	○		
	30・40代	男			○
	30・40代	男		○	
	30・40代	女	○		
	30・40代	女	○		
	50・60代	男	○		
	70代以上	男	○		
保谷(第2回目)	20代以下	男		○	
	20代以下	女			○
	30・40代	男	○		
	30・40代	男		○	
	30・40代	女		○	
	30・40代	女			○
	30・40代	女			○
	50・60代	女		○	
	70代以上	男		○	
	70代以上	女			○
田無(第1回目)	20代以下	女			○
	30・40代	女		○	
	30・40代	女		○	
	50・60代	男		○	
	50・60代	男		○	
	50・60代	女			○
	50・60代	女		○	
	50・60代	女		○	
	70代以上	女			○
	70代以上	女		○	

からない」と答えた方が多かったのに対し、第三回目（日曜日の昼間：仕事などで普段は地元にはいない方を中心に調査）では、再稼働に「賛成」の方が多くおられました。

「賛成」の方は、「もちろん、安全性の確保などは、きちんとやってもらうのが前提だが、水力・火力だけでは、エネルギーが安定しない、CO2が増えるし」というご意見が多かったです。

なかには、「福島の事故は、誰も事前に起こると思っていなかったのも、東電も国も悪くない」と言われた方もおられました。

第二回目で「賛成」と答えられた方は、「もうあれだけつくっちゃったんだし、止めたって金がかかる、だったら使うしかないんじゃないか」というご意見でした。

一方で、「福島が起きたのだからドイツのように新エネルギーにシフトするとし、世界最先端の国にしたらよいのに」というご意見を言われた方もおられました。

また、「わからない」と答えた70代以上女性の方は、規制委員会だって、政府寄り

の人で構成されており、本当に大丈夫にして再稼働なのかわからない」というご意見でした。

今回の集計には、入れていませんが、府中にお住まいで、娘が西東京なので遊びに来ているという70代以上の女性は、「福島に親せきがおり、地元で産業が無い中で、原発関連で働かざるをえない面もある。今でも、原発関連で働いており、一方被災もしている。原発再稼働でまた事故が起きるとは大変だとは思いますが、一概に反対とも言えない」と言われていました。

ネットでのアンケート集計結果では、「賛成」と答えたのが男性だけでしたが、街頭では、女性でも「賛成」と答えた方もおられました。

4. 集団的自衛権について

集団的自衛権については、「はい・やむをえない」と答えた方が相当数おられました。平日昼間でも、男女問わず、「はい・やむをえない」と答えた方が相当おられました。ネットでのアンケート集計結果では、主に男性が賛成でしたが、街頭では、女性でも賛成の意向を示されていました。

集団的自衛権について賛成			はい・やむをえない	いいえ	わからない
田無(第3回目)	20代以下	男	○		
	20代以下	男			○
	20代以下	女			○
	30・40代	男			○
	30・40代	男			○
	30・40代	男	○		
	30・40代	女	○		
	30・40代	女	○		
	50・60代	男	○		
70代以上	男	○			
保谷(第2回目)	20代以下	男			○
	20代以下	女		○	
	30・40代	男	○		
	30・40代	男	○		
	30・40代	女	○		
	30・40代	女	○		
	30・40代	女			○
	50・60代	女	○		
	70代以上	男			○
70代以上	女		○		
田無(第1回目)	20代以下	女		○	
	30・40代	女			○
	30・40代	女		○	
	50・60代	男	○		
	50・60代	男	○		
	50・60代	女			○
	50・60代	女		○	
	50・60代	女		○	
	70代以上	女	○		
70代以上	女	○			

戦争は嫌だけど、今の日本が置かれている状況（これまでの平和は、アメリカの傘の下にいたから、アメリカが弱ってきたのだから一定の役割を果たさざるをえない）を考えると「やむをえない」というニュアンスが多かったようです。「国を守るのは必要だ」、「中国他の脅威も増えているし」、といったご意見でした。「でも、日本が戦場になるのは嫌だけれど」と付け加えた方もおられます。

第一回目で戦争体験者である70代以上女性も「やむをえない」と考えておられるのに驚きました。一方、第二回目では、70代以上女性は、「もう戦争は嫌だ」と言われて「いいえ」にシールを貼られました。

女子中高生風の2人（答としては1人）は、「集団的自衛権」については、授業でもやっているようで、う～ん、難しいと言いながら、でも、「同じ世代の男の子が戦争に行く

ことになるのはいやだから」やっぱ「いいえ」にすると行ってシールを貼っていました。

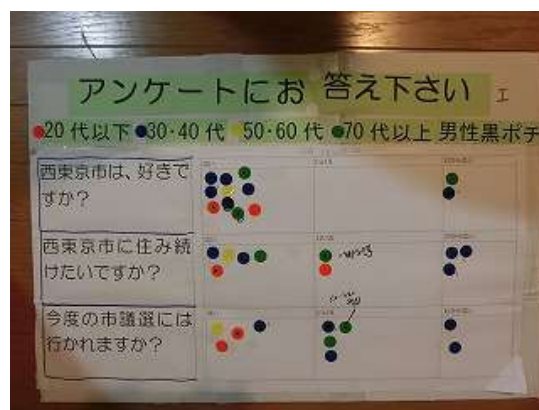
「わからない」にシールを貼った70代以上男性は、中国の脅威というが、中国は、香港で今起きているようなことが起こるなどアジアで日本がやらなければならない戦争は起きないのではないかというようなことを言われていました。

街頭調査の写真

① 第一回（田無ペデストリアンデッキ：10月9日（木）11:45～13:15）



② 第二回（保谷駅ペデストリアンデッキ：10月17日（木）14:00～15:30）



③ 第三回（田無駅ペデストリアンデッキ：10月19日（日）11:30～13:30）

